

平和への誓い

今でも、逃げていくときに見た光景をはっきり覚えている。

当時3歳だった祖母の言葉に驚き、怖くなりました。

「行ってきます」と出かけた家族、「ただいま」と当たり前に戻ってくることを信じていた。でも帰ってこなかった。

それを聞いたとき、涙が出て、震えが止まりませんでした。

68年前の今日、わたしたちのまち広島は、原子爆弾によって破壊されました。

体に傷を負うだけでなく、心までも深く傷つけ、

消えることなく、多くの人々を苦しめています。

今、わたしたちはその広島に生きています。

原爆を生き抜き、命のバトンをつないで。

命とともに、つなぎたいものがあります。

だから、あの日から目をそむけません。

もっと、知りたいのです。

被爆の事実を、被爆者の思いを。

もっと、伝えたいのです。

世界の人々に、未来に。

平和とは、安心して生活できること。

平和とは、一人一人が輝いていること。

平和とは、みんなが幸せを感じることに。

平和は、わたしたち自らがつくりだすものです。

そのために、

友達や家族など、身近にいる人に感謝の気持ちを伝えます。

多くの人と話し合う中で、いろいろな考えがあることを学びます。

スポーツや音楽など、自分の得意なことを通して世界の人々と交流します。

方法は違っていてもいいのです。

大切なのは、わたしたち一人一人の行動なのです。

さあ、一緒に平和をつくりましょう。

大切なバトンをつなぐために。

平成25年(2013年)8月6日

こども代表 広島市立吉島東小学校 6年 竹内 駿治
広島市立口田小学校 6年 中森 柚子